

令和 2 年度

新年度方針資料ダイジェスト版

石狩市立石狩八幡小学校 学校経営方針

石狩発祥の地に新たな小学校がスタート

期待と信頼 創造と協働



石狩小学校	校長	吉	田	光	岐
八幡小学校	校長	三	島	哲	
聚富小中学校	校長	青	山	司	
石狩中学校	校長	坂	田	育	子

はじめに

石狩市立石狩八幡小学校は、令和2年度厚田学園とともに開校する。石狩市及び石狩管内で最も新しい統合新設校であり、旧八幡小学校の校舎を使用してのスタートとなる。

石狩小学校は、1873（明治6）年公立石狩教育所として、八幡小学校は1989（平成元）年石狩東小学校、高岡小学校、美登位小学校の3校が統合したが、歴史をたどれば両校は一つの学校であり、石狩の歴史と一体となって歩み続けた共に由緒ある学校である。石狩小学校は開校146周年、八幡小学校は開校31年で閉じるが、統合することにより、両校が積み上げてきた教育活動を一層発展する契機となる。

平成31（令和元）年度の両校の教職員は、両校の良さを発展的に引き継ぐための新しいバトンを令和2年度の教職員へ渡す役割を果たさねばならない。また、そのバトンは両校の取組の折衷や足りないところを補填で完成とはならず、両校は閉校し、新たな学校を一から創造するという観点を忘れてはならない。

開校と同時に新しい学校の教育目標や経営方針のもと、スムーズにスタートするためには石狩八幡小学校の教育課程を平成30・31（令和元）年度の段階で最も望ましい内容で計画、作成しなければならない。しかしながら、実際に学校がスタートする前の内容であるので、開校1年目の令和2年度から実践、評価、改善を進め、3年間かけて石狩八幡小学校としての真の教育課程を完成させることを目指すこととする。初年度の令和2年度は、統合後の児童の実態、地域の実情、保護者の考えを把握、理解した上で教育課程の修正を図ることを重点とする。

これらのことから、石狩八幡小学校の教育課程に基づく教育活動は、**開校して2年間は基礎作り、3年目は改善期、4年目以降を充実期**とする。

（1）開校1～2年目 基礎づくり（令和2・3年）

両校の最終年度の反省や児童の実態から作成する運営計画では統合校初年度としての運営計画とはならないため、令和2・3年度の2年間は実践や各種調査を行いながら石狩八幡小学校に適した内容を作成する期間とする。特色ある学校づくりにおいては、学校経営プログラムに沿った中間評価や年度末評価、学校運営協議会における学校関係者評価を通して成果と課題を確認し、加除修正しながら、石狩八幡小学校らしい運営計画を作成する。

（2）開校3年目 改善期（令和4年）

2年間の実践に基づき、新しい基本方針や年度の重点を設定し、実践する。開校3年目は教育目標の具現化を進め、石狩八幡小学校の運営基盤を形成する期間とする。

（3）開校4年目以降 充実期（令和5年～）

3年間の実践に基づき、学校としての基盤を確立する。児童の実態・社会情勢や保護者や地域の期待を踏まえた充実した学校づくりを推進する。

期待と信頼 創造と協働

(1) 期待

開校設立準備委員会や本町地区・八幡地区の保護者・地域住民からは少子化や校舎の老朽化による廃校はやむをえないという考えであるからこそ、統合新設校に寄せる期待は大きい。

その期待に応える石狩八幡小学校の教育活動が保護者や地域の願いや地域の特性を活かした特色あるものでなければならない。

(2) 信頼

子どもたちにとってより良い学習環境の確保を第一に、確かな指導を通して楽しく学び、学力を身につけること、子どもたちが支持的風土の中で自己有用感を感じながら自分の良さに気づき自尊感情を高め、自己実現を果たしていくことを中心に据え、生き生きと生活できる学校づくりを行い、保護者や地域からの信頼を獲得しなければならない。

(3) 創造

子どもたち・保護者・地域にとって統合新設校は、新たな教育活動の可能性を開くものである。子どもたちが新しい仲間ができ、多くの人数で互いに高め合い切磋琢磨しながら学習に取り組むことで新たな発想で教育活動が展開できる。教職員には積極的で意欲的な授業や行事を推進することを求められている。保護者や地域は新たな教育活動を通して子どもたちが生き生きと活動する姿を願っている。石狩八幡小学校教職員はそのような新たな教育活動を創造する使命を持つ。

(4) 協働

子どもたちが新しい仲間と協調しながら学び、生活する石狩八幡小学校では、教職員がまず手本となり協調することが大切である。石狩小教職員、八幡小教職員、転入教職員が一つになって協働して新しい学校のスタートを切らなければならない。



ここに北海道・石狩管内・石狩市の教育推進の重点を記載します

I. 教育目標

1. 学校教育目標

「ふるさとを愛し 夢や志を抱き 心豊かでたくましく生きる子の育成」

- ・りりしい子 (意)
- ・かしこい子 (知)
- ・やさしい子 (情)
- ・たくましい子 (体)

2. 教育目標設定の背景

①教育の大改革

新学習指導要領解説総則編の冒頭では、今の子どもたちが成人となる頃、我が国は「厳しい挑戦の時代」を迎えると表現し、グローバル化やAI（人工知能）の飛躍的な進歩などにより社会構造や雇用環境は予測困難な程度にまで激変するとしている。また、今後は一人一人が持続可能な社会の担い手として、質的な豊かさを伴った個人と社会の成長につながる新たな価値を生み出すこと、学校教育においては、様々な変化に積極的に向き合い、他者と協働して課題を解決していくことや様々な情報を見極め知識の概念的な理解、情報の再構成を通じて新たな価値につなげていくこと、複雑な状況変化の中で目的を再構築できるようにしていくことなどを求めている。今改訂における「主体的・対話的で深い学び」への授業改善、教科の新設を含めた外国語教育や道徳教育の充実、各教科等におけるプログラミング教育の導入などは、こうした課題を受けたものととらえられる。

一方、学校が抱える課題の複雑化・困難化、教員の急速な世代交代等の背景のもと、前述のように求められる力の育成を学校教育だけで担っていくことは難しいという見通しも明言されている。既に我が国では、コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の普及を通して「地域とともにある学校づくり」が推進され、今改訂においては学習指導要領等を「学びの地図」として家庭・地域と共有し「社会に開かれた教育課程」をめざすことが期待されている。これからの学校に求められる教育環境としての本質的な役割や職場環境としての在り方などについて、家庭、地域とともに見つめ直していくことが極めて重要になっていると考えられる。

②統合前の両校の歴史的背景

令和2年度石狩小学校と八幡小学校は児童数の減少等により、統合される。また、聚富小学校から、現聚富小校区の児童が学校指定変更により統合校に合流することになった。

石狩川河口の右岸（現八幡小校区）と左岸（現石狩小校区）に位置する本町・八幡地区は、歴史的に一体となって発展してきた。地域の学校の歴史を大きな流れとして見ると、幕末に右岸地区に設立された「教導館」を源流とし、学制によって創設された「石狩教育所」によって公教育として始まった石狩河口地域に位置する本町・八幡地区の教育は、分離統合を繰り返しながら、今日まで連綿と継続されてきた。石狩小学校と八幡小学校は、歴史から概観すると一つの学校であり、石狩教育所から連綿と続く道内で最も歴史のある石狩小学校と教導館に由来する八幡小学校は、「石狩発祥の地」であるこの地域に石狩の歴史と一体となって歩みを続けてきた共に由緒ある学校である。

今回の統合は、両校の「歴史と伝統」が再び一つにまとまるという意義を持ち、両校が積み上げてきた優れた教育活動が一層発展する契機という意味を持つ。

③設立準備委員会における統合校の特徴

これまで両校が取り組んできた「確かな学力」「豊かな心」「健やかでたくましい体」の育成はもとより、地域の歴史や文化を生かした教育活動や伝統芸能活動を継承し、「石狩発祥の地」として石狩を代表する伝統校としての特色ある学校づくりを行う。

3. 教育目標設定の意図

●総括目標

「ふるさとを愛し 夢や志を抱き 心豊かでたくましく生きる子の育成」

先行き不透明で予測困難な 21 世紀。情報化や国際化が一層進み価値観が多様化する社会に生きる子どもたちには、主体的でたくましく生き抜くための自主自立の精神を身につけ、仲間とともに協働・対話を通し、多くの実体験を経験することで、訪れるであろう様々な困難にひるむことなく立ち向かい解決する力の育成が求められている。

また、石狩市発祥の地、石狩の中心であった石狩川河口に位置する本校の子どもたちには、自分が生まれ育った地域の豊かな自然や伝統・文化に親しみ、理解を深め、先人の生き方に触れることにより、ふるさとへの愛着や誇りを育み、夢や志を持って地域社会への一員としてふるさとに生きようとする姿勢を育てることが重要である。

生まれ故郷を愛し、誇りに思い、恵まれた教育環境の中で、夢や志を持って、21 世紀をたくましく生き抜く力を培うことを総括目標として、地域社会とともに力を合わせ、学校教育の充実を図りたい。

▶育成すべき資質能力

「夢や志をかなえる力」

教育目標を目指すには、本校のあらゆる教育活動を通して全ての子どもたちに「夢や志をかなえる力」を身につけさせる必要がある。この「夢や志をかなえる力」が本校の教育課程において育成すべき資質能力であり、その力は「かかわる力」「やり抜く力」「見つめる力」の 3 点で構成される。3 つの力を以下に示す。

- ・「かかわる力」～人間関係や社会を形成する能力、つまり他者の多様な考えを認める、相手の意見を丁寧に聞く、相手に自分の考えを適切に伝える力である。
- ・「やり抜く力」～課題対応能力、つまり課題を見つける、計画を立て見通す、解決方法を工夫する、あきらめないで努力する力である。
- ・「見つめる力」～自己理解（自尊感情）・自己管理能力、つまり自分の良いとことに気づく、自分に自信を持つ、自己の役割がわかる、自分で考え行動する、自分をコントロールする力である。

II. 目指す子ども像・学校像・教職員像

1. 子ども像

4 つの子ども像は教育目標達成の姿であり、その姿を支えるものは「夢や志をかなえる力」である。

※〔りりしい：男性的な言葉だが、本校では以下の通りおさえる〕

- 目的を持って行動する ⇒ 「かかわる力」
- 毅然とした態度で物事に当たる強さを持つ ⇒ 「やり抜く力」
- 男女ともしっかりとした意志や自信を持つ ⇒ 「見つめる力」

「夢や志をかなえる力」を構成する 3 つの力と「りりしい」との関連

○理想に向かう りりしい子（意）※

【指導目標】 実体験から育まれる自主性や判断力から確たる自信・夢・志をもって生き抜く子ども

○自ら学ぶ かしこい子（知）

【指導目標】主体的に学ぶ姿勢を育み、確かな学力を身につけ、仲間とともに高め合う子ども

○思いやりのある やさしい子（情）

【指導目標】仲間と協力して助け合い 心や自然の美しさ等に感動できる豊かな心をもった子ども

○健やかで たくましい子（体）

【指導目標】明るく元気に、進んで体を鍛え、生命を尊重し、たくましい心と体をもった子ども

2. めざす学校像

☆笑顔いっぱい 夢いっぱい 感動ある学校

☆教育環境が整った 安全・安心な学校

☆地域の伝統と信頼に基づいた 開かれた学校

3. めざす教職員像

☆人間性豊かで子どもとともに汗と涙する教職員

※「子どもに親身に寄り添う」ことを意味する

☆専門職としての力量を身につけた教職員

☆学校経営参画意識をもち協力する教職員

☆地域を愛し、保護者・地域と歩む教職員

III. 学校経営の基本方針

基本方針1 ～子ども・保護者・地域から信頼され調和のある学校づくりの推進

- ・教育目標の具現化を目指し全職員の創意工夫による学校運営の充実「チーム石狩八幡小」②
- ・道徳教育の充実によるいじめのない学校の実現 ④
- ・地域の教育資源や人材の活用と小中連携を強化したコミュニティ・スクールの実現 ⑨
- ・学校における働き方改革の推進 ⑩

基本方針2 ～子どもの豊かな自己実現を図る教育の推進

- ・新しい時代に必要となる資質能力の育成につながる教育課程の編成実施 ①
- ・支持的風土の学年学級経営の推進 ④
- ・児童一人一人のニーズに応える特別支援教育の充実 ⑧
- ・安全安心な潤いのある教育環境整備 ⑩

基本方針3 ～自ら学び考える力を育む教育の推進

- ・わかる楽しい・学習意欲を高める授業の創造と研修の充実 ③
- ・確かな学力を定着させる学習指導の充実 ⑩
- ・望ましい「生き方」を自ら追求するふるさと学習の充実 ⑥

基本方針4 ～豊かな心と健やかな体を培い、社会性を育む教育の推進

- ・ 日常的な児童観察と迅速で効果的な生徒指導の充実 ⑤
- ・ 心身の健康保持増進と安全 防災教育の推進 ⑦
- ・ 豊かな心を育て 生き方を学ぶ読書活動の充実 **新**

IV. 本年度（令和2年度）経営の重点

◎「夢や志をかなえる力を身に付けさせるための児童の実態と地域の実情の把握」

本年度は学校教育目標「ふるさとを愛し 夢や志を抱き 心豊かでたくましく生きる子の育成」に必要な「夢や志をかなえる力」を身に付けさせるために児童の実態を明らかにし、3年後の本校の教育活動充実期に向けてあらゆる教育活動を通じて、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の3つの柱で再整理を進める。また地域と一体となり教育を推進するために地域の方々との連携を強固にし、社会に開かれた教育課程の実現を目指す。

1. 「新学習指導要領におけるより良い教育課程の編成・実施・評価・改善の推進」

⇒志づくり

令和2年度は新学習指導要領完全実施となり、関係4校で論議してきた教育課程は新しいものとなるが、主体的・対話的で深い学びの授業づくり、外国語科、プログラミング教育など新たな観点で編成・実施したものはより細かな評価改善が必要となる。令和2年度は行事等の計画・反省を慎重に行い、次年度への石狩八幡小の真の教育課程編成につなげたい。なお、総合的な学習はふるさと教育充実の根幹をなすことから、小中7年間のカリキュラム（志づくりカリキュラム）の編成は石狩中学校との協議は不可欠であり、小中での連携を一層進めたい。

2. 「新たな出会いの中で生き生きと学び合い高め合う子どもの育成」

⇒仲間づくり（最重要）

統合の初年度、石狩小・八幡小・聚富小の子どもたちは新たな仲間、教員、校舎、地域と出会い、新たな気持ちで学校生活をスタートする。高い目標を持ち、意欲的な子どもたちに石狩八幡地区の新たな学習環境の中で質の高い教育を提供し、切磋琢磨しながら生き生きと学び合う子どもの育成を目指す。また、支持的風土の学級をつくり、決められたルールの中で、誰もが認められる安心感が持て、新しい学校が居心地の良い明るい気持ちを持たせたい。節目の行事、特に運動会では、子どもたちの絆、教職員の協働性を強めたい。

3. 「授業力の向上を図る研修の充実」 ⇒授業づくり

児童の実態を把握すると共に石狩八幡小の授業スタイルを早く確立しなければならない。職員間の共通理解・共通行動はもちろんであるが、子どもたちへの質の高い授業の提供のための教師の資質向上は必要不可欠である。授業力向上のための特別な研修よりも日常の学習指導を大切にした石狩八幡スタンダードにあたる研修を進めたい。授業規律・ノート指導・板書等の徹底は初年度に固めたい。

教育課程部会報告

1. 第1回教育課程部会全体会議 平成30年10月2日(火) 15:30～ 八幡小学校

○全体会議

- 1) 職員紹介
- 2) 教育目標, めざす学校像・子ども像・教職員像について
- 3) 30年度・31年度の作業見通しについて

○教育課程部会分科会 資料1

2. 第2回教育課程部会全体会議 平成30年11月29日(木) 15:30～八幡小学校

○教育課程部会分科会

分科会① 新しい学校の特色づくり	分科会② 新学習指導要領への対応	分科会③ 地域連携	分科会④ 閉校開校準備
・特色ある活動の検討 ・H31年度に共同で取り組む活動の検討	・各校の日課表や行事の確認	・各校のPTA活動の確認 ※分科会のあり方	・閉校事業の取組について(交流) ※分科会のあり方

3. 第3回教育課程部会全体会議 平成31年2月25日(月) 15:15～ 石狩小学校

○全体会議

1) 分科会報告

①新しい学校の特色づくり

・交流行事について

①1回目：石狩小学校会場 ・6月24日(月) 3校時 10:20～ ・児童集会に八幡小学校、聚富小学校が加わる ・児童委員会企画のゲーム、読みきかせなど
②2回目：八幡小学校会場 ・9月6日(金) 3校時 10:40～ ・「あい風コンサート」に石狩小学校、(聚富小学校)が加わる ・校内見学 学年間交流
③児童会活動の交流

②学習指導要領への対応

・平成31年度就学時教室・1日入学会について

①就学時教室：八幡小学校会場 ・令和元年11月14日(木) 13:00～ ・スクリーニング検査・・・石狩小学校、(聚富小学校)からは教職員のみ参加 ・保護者説明会
--

② 1 日入学会：八幡小学校会場
 ・令和 2 年 2 月 6 日（木）13：00～
 ・現 1 年生との交流・・・石狩小学校、（聚富小学校）1 年生も参加、バス移動
 ・保護者説明会・・・教材などそろえる必要があるものは今年度中に決定。

2) 平成 31 年度 of 取組について

※各校の担当係を横にそろえ、平成 31 年度は教務部会と指導部会 of 2 つの部会にし、部内に係を配置する

石狩小学校	八幡小学校		聚富小学校		石狩中学校		協議内容 (例)	
教務部	教務	教務部	教育課程	教務部	教務	教務部	教務 など	教育課程全般、行事予定など
	教務事務		教務		学習指導			
	研究推進		研究		研究研修		研究	校内研究にかかわること
	研修				教育機器		教育機器	
	事務管理	事務管理部	事務管理	総務部	庶務	事務管理部	経理庶務	備品、教材、会計など
		管理		経理		施設設備管理		
指導部	生活	指導部	生徒指導	指導部	生活指導	指導部	生徒指導	校内生活、校外生活
	児童会活動		児童会指導		児童生徒会		生徒会	児童会活動、縦割り班活動
	体育活動		体育指導		体育・文化・行事		体育部活動	体力向上、運動会
	文化活動	教	文化図書	教	図書	教	文化図書	図書館、作品応募、学芸会
	健康教育	指	保健指導	指	保健美化	事	保美	健診、保健衛生活動

4. 第 4 回教育課程部会 全体会議 平成 31 年 4 月 24 日(水) 八幡小学校 音楽室

○全体会議

1) 職員紹介～各校校長先生から (石狩小 → 八幡小 → 聚富小 → 石狩中)

2) 協議事項

(1) 石狩八幡小学校の教育目標について

(2) 教育課程部会 of 進め方について

※教育課程部会 of 「全体会議」は、合同職員会議としていく。

※全体会後の教育課程部会は、部に分かれ各項目を検討し、案をまとめる場とする。

【スケジュール】

回	日時・場所	全体会議（合同職員会議）	各部会（分掌部会）
4	4月24日（水） 14：45 八幡小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・新メンバーによる顔合わせ ・石狩八幡小学校経営方針提示 ・年間行事予定提示 ・分掌、係ごとの業務確認・役割分担 <p>【全体確認】</p> <ul style="list-style-type: none"> ※児童交流（6月実施） ※宿泊学習（7月実施） 	<p>【教務部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日課表 ・総合的な学習の時間 ・年間行事予定 ・備品教材教具 ・小中連携 ・校内研究 ・宿泊学習 ・修学旅行 ※写真、卒業アルバム ・今年度から取り組めること
			<p>【指導部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童会活動 ・運動会 ・学芸会 ・遠足 ・スキー学習 ・水泳学習 ・今年度から取り組めること <p>【管理職】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育計画様式 ・提案資料の形式 など
	6月17日（月）頃		今回のみ部会の設定が必要
5	7月17日（水） 14：45 石狩小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・新年度経営方針提示 ・教育計画様式提示 ・各部からの提案 ・分掌、係ごとの業務進捗状況確認 <p>【全体確認】</p> <ul style="list-style-type: none"> ※あい風コンサート（9月実施） 	<p>【教務部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会見学 ・通知票 ・学年教材 ・教材備品 ・学習規律 ・授業評価 ・児童交流 ・中学校と連携できること
			<p>【指導部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登下校バス指導 ・避難訓練 ・集団下校訓練 ・交通安全教室 ・縦割り班活動 ・中学校と連携できること <p>【管理職】</p> <ul style="list-style-type: none"> ※コミュニティ・スクール ※学校支援推進員 ※PTA組織
6	9月18日（水） 14：45 八幡小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・各部からの提案 ・分掌、係ごとの業務進捗状況確認 ・教育計画原稿作成、内容検討 <p>【全体確認】</p> <ul style="list-style-type: none"> ※就学時教室（11月実施） 	<p>【教務部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育体制 ・教室配置 ・家庭学習 ・交流授業～福祉施設、保育園 パートナーズクール
			<p>【指導部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活のきまり ・いじめ対策 ・生徒指導交流 ・清掃給食指導 ・図書・読みきかせ <p>【管理職】</p> <ul style="list-style-type: none"> ※学校改善プラン ※体力向上プラン ※いじめ防止基本方針 ※学校評価計画

7	12月4日(水) 14:45 石狩小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・各部からの提案 ・分掌、係ごとの業務進捗状況確認 ・教育計画原稿作成、内容検討 	【教務部】 <ul style="list-style-type: none"> ・教育課程 ・校内研究 <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ ・教材園
		【全体確認】 ※1日入学(2月実施)	【指導部】 <ul style="list-style-type: none"> ・図書 ・掲示 ・作品展 ・各種健診、保健指導 ・体育館使用 ・演劇鑑賞会
			【管理職】 ※儀式的行事 ※開校式、開校記念式典、開校記念日
8	1月29日(水) 14:45 八幡小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・新年度計画会議 ・教育計画原稿作成 	【教務部】【指導部】 <ul style="list-style-type: none"> ・学校教育計画 運営編 提案
9	2月5日(水) 14:45 石狩小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・新年度計画会議 ・4月行事検討 	【教務部】【指導部】 <ul style="list-style-type: none"> ・学校教育計画 行事編 提案 ・統合校4月行事について確認
10	2月末	<ul style="list-style-type: none"> ・教育計画原稿締切 ・印刷・製本・完成 	【教務部】【指導部】 <ul style="list-style-type: none"> ・最終原稿提出 ・印刷、製本、完成

5. 第5回教育課程部会全体会議(合同職員会議)令和元年7月17日(水) 石狩小学校 理科室

1 協議事項

(1) 石狩市立石狩八幡小学校 新年度方針 P1~P6 説明

(2) 教務部会

- ・日課表・年間行事予定
- ・備品教材教具
- ・総合的な学習の時間
- ・学習規律等
- ・校内研究
- ・宿泊学習
- ・修学旅行
- ・特別支援

(3) 指導部会

- ・街頭指導
- ・交通安全教室
- ・避難訓練
- ・集団下校訓練
- ・児童委員会
- ・児童集会
- ・任命式
- ・運動会
- ・水泳学習
- ・スキー学習
- ・清掃
- ・遠足

2 部会協議

分科会	分科会①				分科会②				分科会③				分科会④			
	新しい学校の特色づくり				新学習指導要領への対応				地域連携				閉校開校準備			
主な業務	○地域の歴史、文化、自然等の特色を活かした新しい学校の特色づくりに関すること ○小中連携教育の一層の充実に関すること				○特別の教科道徳、小学校外国語活動等に関すること				○コミュニティスクール、学校運営協議会の準備、少年団等に関すること				○閉校準備（記念誌、記念事業、式典等） ○開校準備（校章、校歌等）			
取組内容	【30年度】 ○地域の教育資源活用状況確認と特色ある教育活動の方向性の検討 ○児童会生徒会交流の実施				【30年度】 ○外国語活動、外国語科年間指導計画作成 ○道徳年間指導計画作成				【30年度】 ○PTA 統合の方向性の検討 ○コミュニティ・スクール(学校運営協議会)に関する情報収集				【30年度】 ○記念誌、記念事業、式典等の内容、期日			
	【31年度】 ○特色ある教育活動を盛り込んだ総合的な学習の時間等の年間指導計画完成 ○小中連携の具体的な取組内容検討				【31年度】 ○その他各種全体計画作成 ○その他各教科等の9年間を見通した年間指導計画完成				【31年度】 ○PTA 活動計画案の作成 ○コミュニティ・スクール(学校運営協議会)の構成準備				【31年度】 ○校歌作成 ○式典を含めた記念事業等の実施			
	・総合的な学習の時間 地域人材、地域素材、石狩のよさ ・防災教育 ・小中連携統一事項 学習規律、持ち物、生活のきまり ・教育課程 ・小中交流行事 児童会生徒会 教職員 PTA				・教育課程全般 ・各全体計画、年間計画など ・評価方法・通知票・要録 ・特に道徳科、外国語科 移行措置期間の教育課程 H32年度以降の新教育課程 ・日課表（時数増、放課後学習など） ・校外学習・社会見学 ・宿泊学習・修学旅行 ・運動会・学芸会 ・水泳、スキー学習 ・性に関する指導 ・食の指導 ・学習規律・家庭学習 ・ノート規格 ・校内研究				・各校のPTA組織の終わり方 会計処理など ・新PTA組織構成 人数、選出方法 ・学級役員・人数 ・PTA行事・学年レク ・コミュニティ・スクールについての研修 ・学校運営協議会の構成メンバー ・学校支援推進委員との兼ね合い ・町内会との連携				・閉校記念式典日時、場所、次第 ・招待者対象 ・記念品 ・記念誌 ・実行委員会 ・予算 ・記念事業 ・開校記念式典日時、場所、次第 ・招待者対象 ・記念品 ・記念誌 ・実行委員会 ・予算 ・記念事業			
代表(教頭)	◎石狩小	○八幡小	聚富小	石狩中	○石狩小	◎八幡小	聚富小	石狩中	◎石狩小	○八幡小	聚富小	石狩中	○石狩小	◎八幡小	聚富小	石狩中
各校担当者	3名	5名	1名	1名	4名	4名	1名	1名	2名	2名	1名	1名	3名	2名	1名	
校長	関係4校校長による全体統括															